

# 平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00637)

事務事業名称 地方創生交付金事業				款 02	項 01	目 01	事業 010	整理番号 009		
現担当課名 文化・交流課		係名 地方創生担当		連絡先電話番号 3773		昨年度整理番号 010				
上位施策No・施策名 31 交流与平和、男女共同参画の推進							予算事業区分 臨時事業			
事務事業の概要	事業開始	平成26年度	実行計画事業	目標 05	施策 31	計画事業 01	主要事業(区政経営報告書掲載事業)			
	平成27年度担当課名	企画課					事業評価区分 一般			
	対象	区民		根拠法令等	(1)	まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)				
					(2)					
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区の将来における人口減少の克服、交流自治体をはじめとした地方の創生 都市と地方の共存共栄 地方創生先行型交付金の活用			活動指標 指標名(1)	地方創生・交流自治体連携フォーラム開催回数				
				指標説明	地方創生の取組みを交流自治体と進めるために開催するフォーラム					
				指標名(2)	お試し移住事業説明会開催回数					
				指標説明	お試し移住事業に関する説明会を開催した回数					
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	人口ビジョン・杉並版総合戦略の策定 地方創生に関する具体的な施策や課題検討を行うための、交流自治体の首長をメンバーとする地方創生・交流自治体連携フォーラムの開催			成果指標 指標名(1)						
				指標説明						
				指標名(2)						
				指標説明						
区分	単位	平成25年度 実績	平成26年度		平成27年度		平成28年度 計画	平成27年度 対計画比(%)		
			計画	実績	計画 (目標値)	実績				
指標	活動指標(1)	1	回	0	0	2	2	1	100.0	
	活動指標(2)	2	回	0	0	1	1	3	100.0	
	成果指標(1)	3								
	成果指標(2)	4								
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	28,000	0	40,000	38,209	0	平成27年度 予算執行率(%) 95.5	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	特記事項 平成27年度は、平成26年度から繰り越された「地域住民生活等緊急支援のための交付金(地方創生先行型)」を活用し、事業を行った。 また、平成27年12月18日に閣議決定された国の「地方創生加速化交付金」を活用した地方創生に向けた取組は、平成28年3月に交付金の交付決定がなされたが、年度内に執行が完了しなかったため、この交付金は、平成28年度に繰り越しを行い執行する(繰り越しについては、国了承済)。	
	(内)委託費	7	千円	24,720	0	28,049	26,453	0		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.00	0.01	1.50	1.75		1.50
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	0	88	13,215	15,307		13,121
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0		0
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	28,000	88	53,215	53,516	13,121		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	0	0	26,607,500	26,758,000	13,121,000		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	35,556	34,695		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	35,556	34,695	0		
差引:一般財源(14-20)		21	千円	28,000	88	17,659	18,821	13,121		
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	009	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		総合戦略の策定及び人口ビジョンの策定				
		地方創生・交流自治体連携フォーラムの開催		2	回	1,267
		お試し移住説明会		2	回	384
		（仮称）すくすくひろばの整備（保育人材確保支援事業費含む）		1	か所	11,014
		その他（駅周辺トランスボックスラッピング設置工事等）				20,891
平成27年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>区の人口の将来展望を示す杉並区人口ビジョンを平成27年9月に策定するとともに、地域の活力を維持し安定した財政運営を確保するため、この展望に対応する具体的方策を示した「杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年11月に策定しました。</p> <p>また、地方創生・交流自治体連携フォーラムにおいて、「若者の地方への流れをつくる」などをテーマに各交流自治体の首長が意見交換を行い、今後、杉並区内の大学の学生と交流自治体との交流の仕組みを検討していくこととしました。</p>				
		<p>事業開始当初から現在までの変化</p> <p>平成27年11月に「杉並区ひと・まち・しごと総合戦略」を策定し、3つの基本目標にある各事業ごとに取組を開始しました。</p> <p>平成28年1月に開催したお試し移住事業説明会には、約200人の区民が参加し、さらに、3月に南伊豆町が実施した現地見学会バスツアーへは、29人の区民が参加しました。</p>				
事業環境の変化	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>若者の就労と雇用安定の支援や学童クラブの需要の増加等の要望があるとともに、区の情報発信が不十分との指摘がありました。</p> <p>また、地方移住に関して、「お試し移住」に対する提言や南伊豆町の特別養護老人ホームの適正運営への要望等がありました。</p>				
		<p>今後、東京圏への人口流入は増加傾向である一方で、地方は人口が減少していくことが想定されます。区の人口も増加傾向にありますが、日本の総人口が減少すれば、区もその影響を受けることは避けられないため、交流自治体を中心とした地方との連携を図っていく必要があります。</p> <p>また、ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックの開催により、多くの来街者が東京圏に訪れることから、区内の観光資源の魅力を見出し、その魅力を効果的に伝える情報発信能力を強化し、区への来街者の増加を図っていきます。</p>				
事業環境の変化	今後の予測	<p>平成27年度は、「地方創生・交流自治体連携フォーラム」を2回開催し、人口減少が進む地方への人の流れをつくるための共同研究や合意形成ができました。また、交流自治体との連携を強化する、お試し移住などの新たな取組を開始しました。</p> <p>今後は、総合戦略における各取組の重要業績評価指標（KPI）を達成するため、適切な進行管理を行っていきます。また、他の基礎自治体との新たな連携を図るため、「地方創生・交流自治体連携フォーラム」や特別区全国連携プロジェクトなどの取組事例などを活用し、事業を創出していきます。</p>				
		<p>評価と課題</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の進め方	<p>昨年度策定した「杉並区まち・ひと・しごと総合戦略」に基づき、具体化した取組について進行管理を行い、実施・拡充していくとともに、新たな連携事業の創出を目指します。</p> <p>また、都市と地方の共存共栄を図り、既に交流のある自治体と連携しながら地方創生を推進するため、各自治体の首長をメンバーとする地方創生・交流自治体連携フォーラムを開催し、問題解決のための協働政策や合意形成を図っていきます。</p>				

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00061）

事務事業名称		すぎなみフェスタ			款	03	項	01	目	01	事業	008	整理番号	061	
現担当課名		文化・交流課		係名	すぎなみフェスタ担当係			連絡先電話番号	3772		昨年度整理番号	065			
上位施策No・施策名										31 交流と平和、男女共同参画の推進		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成25年度			主要事業（区政経営報告書掲載事業）										
	平成27年度担当課名	文化・交流課			事業評価区分 一般										
	対象	すぎなみフェスタ来場者 すぎなみフェスタ協賛者 すぎなみフェスタ連携イベント			根拠法令等	(1)		すぎなみフェスタ実行委員会規約							
						(2)		杉並区地域活性化事業推進本部設置要綱							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	「人と人、地域と地域をつなぎ、杉並を元気に」を基本理念に、すぎなみフェスタを開催する。すぎなみフェスタを中核に、他のイベントと連携しながら、杉並の魅力を内外に発信し、地域社会・地域経済の活性化につなげる。			活動指標	指標名(1)		すぎなみフェスタ開催							
					指標説明		すぎなみフェスタ実行委員会・作業部会開催								
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	すぎなみフェスタ実行委員会において、イベント内容を企画して実施する。杉並区地域活性化事業推進本部で検討を行い、庁内の応援体制を組み実施する。すぎなみフェスタ実行委員会に事業共催分担金を支出する。			成果指標	指標名(1)		すぎなみフェスタへの来場者								
					指標説明		2日間の延べ来場者数								
					指標名(2)		すぎなみフェスタへの協賛金額								
					指標説明		すぎなみフェスタへの企業・団体・個人の協賛合計額								
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度	対計画比(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1 回	1	1	1	1	1	1	100.0						
	活動指標(2)	2 回	9	9	6	10	10	10	100.0						
	成果指標(1)	3 人	75,000	80,000	82,000	85,000	79,000	86,000	92.9						
	成果指標(2)	4 千円	6,365	7,800	8,065	8,800	8,878	9,100	100.9						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	13,499	12,000	12,000	11,300	11,300	11,000	平成27年度 予算執行率(%)	100.0					
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内) 委託費	7 千円	34	0	0	0	0	0							
	職員数	常勤職員数	8 人	1.15	1.00	1.15	1.50	1.60	1.50						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	9,925	8,810	10,132	13,215	13,995	13,121						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	23,424	20,810	22,132	24,515	25,295	24,121							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	23,424,000	20,810,000	22,132,000	24,515,000	25,295,000	24,121,000							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源(14-20)		21 千円	23,424	20,810	22,132	24,515	25,295	24,121							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	061	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		すぎなみフェスタ実行委員会への事業共催分担金の支出			
		杉並区地域活性化事業推進本部会・幹事会	6	回	0
		すぎなみフェスタ応援職員説明会	2	回	0
		その他( )			
平成27年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>11月7日、8日に桃井原っぱ公園をメイン会場とする「すぎなみフェスタ2015」を連携イベントの杉並区農業祭、すぎなみパン祭り・すぎなみスイーツフェア、すぎなみ産業フェアなどの主催者と協力して開催し、延べ7万9千人の来場者がありました。 開催にあたっては、広告協賛に延べ239件、運営協賛に延べ81件の企業・団体等から協賛をいただきました。</p>			
		<p>事業開始当初から現在までの変化</p> <p>平成24年度に桃井原っぱ公園で開催した「杉並区80周年まつり」が延べ約9万3千人の来場者があり、盛況に終了しました。この事業成果を継続的に生かしていくため、同様の実行委員会方式による取組とし、平成25年度から「すぎなみフェスタ」という名称により、毎年秋に実施する一大イベントとして定着してきました。</p>			
事業環境の変化	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>例年、来場者から大変な好評を得ており、来年も期待するなどの声をいただいています。一方で、会場近隣の住民等からステージイベントや会場からの音、近隣私有地への無断進入、駐輪に関する苦情、出店団体の搬入・搬出時の交通、近隣店舗の駐車場の混雑等の苦情も寄せられました。</p>			
		今後の予測	<p>杉並区80周年まつりから数えて4回の開催と連携イベントとの相乗効果により、時期や場所などがイベントとして定着してきたことから、杉並の魅力を発信する機会としてさらに発展していきます。</p>		
評価と課題		<p>「人と人、地域と地域をつなぎ、杉並を元気に」を基本理念に掲げた『すぎなみフェスタ』は、杉並の良さ・魅力の区内外への発信を通して、お子さんから高齢者まで大勢の来場者が集いました。また、会場内では、交流自治体をはじめとした基礎自治体による物産販売、豊かな自然のPR活動など自治体職員等とのふれあいを通じて、多くの区民がその魅力を感じることができました。さらには、東日本大震災被災地のアンテナショップ出展を通じた募金活動など復興支援にも寄与することができました。 今後は、隣接する連携会場へ人の流れをつくる魅力的な企画づくりに取り組んでまいります。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	今後の進め方	<p>すぎなみフェスタの来場者等には、大変好評を得ているため、当面の間は継続して取り組んでいきます。その上で、協賛金の推移を見据え、運営体制の強化、他のイベントとの関係性など、広く関係者の意見を聴取しながら、今後のすぎなみフェスタのあり方を検討していきます。</p>			

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00065）

事務事業名称		平和事業の推進				款	03	項	01	目	01	事業	012	整理番号	065	
現担当課名		区民生活部管理課		係名		庶務係		連絡先電話番号		3754		昨年度整理番号		069		
上位施策No・施策名											31 交流と平和、男女共同参画の推進		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始		平成元年度		実行計画事業		目標 05		施策 31		計画事業 03		主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
	平成27年度担当課名		区民生活部管理課										事業評価区分		一般	
	対象		区民、関係団体、民間団体				根拠法令等		(1)		杉並区平和都市宣言					
									(2)							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		区民一人ひとりが、平和都市宣言の趣旨を理解し、戦争の悲惨さや平和の尊さに対する認識を深め、世界の恒久平和に寄与する。				活動指標		指標名（1）		平和のつどい開催日数					
								指標説明		平和のためのポスターコンクール応募校数						
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）								指標名（2）		平和のためのポスターコンクール応募校数						
		平和のつどいの実施 平和のためのポスターコンクールの実施 北朝鮮拉致被害者家族支援 平和への意識の啓発を図る。				成果指標		指標名（1）		平和のつどいへの参加者数						
								指標説明		平和のためのポスターコンクール応募者数						
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								
								指標名（2）								
								指標説明								



# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	065	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単 位	事業費（千円）
		平和のつどい（8月・3月）	3	回	731	
	平和のためのポスターコンクール	1	回	1,122		
	平和意識の啓発、他自治体との連携			1,063		
	北朝鮮拉致被害者家族支援	5	回	33		
	その他（戦後70年事業）			5,513		
(2) 事業実績	<p>平成27年は、特に戦後70年として、区民から証言原稿などを募集し、「区民の戦争戦災証言記録集」を編集・発行しました。同証言記録集は、区立小・中学校、図書館などへ配布するとともに、区民向け用として、区役所区政資料室にて一般販売を開始しました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>昭和63年3月30日「杉並区平和都市宣言」を行いました。毎年実施している「平和のためのポスター絵画コンクール」には、多くの学校からの応募があります。戦争体験者・被爆体験者の高齢化が年々進行している状況の中、戦争の惨禍を風化させず、平和の尊さを次世代に各実に語り継いでいく必要があります。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>原水禁署名運動発祥の地、平和都市宣言自治体として、戦争の悲惨さや平和の尊さについて、今後も積極的な啓発に取り組むべきとの、区民意見がありました。</p>				
	今後の予測	<p>平和の意識啓発は行政としての責務であり、今後も国内外の自治体との連携が不可欠であるとともに、継続して区民に発信していくことが必要であると考えます。</p>				
評価と課題	<p>戦争体験者・被爆体験者の高齢化が年々進行している中、戦争の惨禍を風化させず、平和の尊さを次世代に確実に語り継いでいく必要があります。平成27年度に発行した戦後70年としての「証言記録集」は、区民の貴重な戦争の体験談をまとめたものであり、区の財産となるものです。今後も、区民一人ひとりが平和の尊さに対する認識を深めることができるよう、様々な機会や事業を通して、平和への願いを伝えていきます。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	今後の進め方	<p>戦争の惨禍を風化させず、平和の尊さを次世代に各実に語り継いでいくために、今後も「戦争の悲惨さ、平和の大切さ」について、パネル展示などを開催し、区民啓発に取り組んでいきます。</p>				

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00066）

事務事業名称 男女共同参画の推進			款 03	項 01	目 01	事業 013	整理番号 066				
現担当課名 区民生活部管理課		係名 男女共同・犯罪被害者支援係		連絡先電話番号 3756		昨年度整理番号 070					
上位施策No・施策名 31 交流与平和、男女共同参画の推進						予算事業区分 既定事業					
事業開始 平成 3年度		実行計画事業 目標 05 施策 31		計画事業 04							
平成27年度担当課名 区民生活部管理課						事業評価区分 一般					
対象 区民、職員、各主管課		根拠法令等 (1) 男女共同参画社会基本法									
		(2) 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱									
事務事業の概要	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか） 男女平等や男女共同参画についての理解を深める。 男女共同参画行動計画を着実に実行する。		活動指標 指標名（1）		男女共同参画推進区民懇談会の開催数						
			指標説明		啓発品配布数						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段） 男女共同参画意識の啓発 「杉並区男女共同参画行動計画」の策定、推進 区民懇談会で男女共同参画についての区民意見を聴取		指標名（2）								
			指標説明								
		成果指標 指標名（1）		審議会等における女性委員の登用割合							
		指標説明		社会全体で男性と女性が平等になっていると思う人の割合 区民意向調査による							
		指標名（2）									
		指標説明									
区分	単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度			
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標（1）	1	回	0	5	2	3	3	3	100.0	
	活動指標（2）	2	個	5,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	100.0	
	成果指標（1）	3	%	34.3	38.5	34.0	38.5	34.6	38.8	89.9	
	成果指標（2）	4	%	0.0	0.0	0.0	25.0	21.8	27.5	87.2	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	778	1,939	1,145	2,877	2,443	14,680	平成27年度 予算執行率(%) 84.9	
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 男女共同参画に係る幅広い分野の取組を総合的に判断するため、成果指標を「社会全体で男性と女性が平等になっていると思う人の割合」に変更しました。	
	(内) 委託費	7	千円	4	46	22	114	31	12,667		
	職員数	常勤職員数	8	人	1.35	1.30	1.30	1.30	1.50		1.30
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	11,651	11,453	11,453	11,453	13,121		11,371
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0		0
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0		0
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	12,429	13,392	12,598	14,330	15,564	26,051		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	0	2,678,400	6,299,000	4,776,667	5,188,000	8,683,667		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	12,429	13,392	12,598	14,330	15,564	26,051		
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	066	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		男女共同参画行動計画改定	1	回	1,359	
		男女共同参画行動計画進捗状況調査	1	回	511	
		男女共同参画推進区民懇談会	3	回	182	
		男女共同参画推進会議・幹事会	4	回	0	
		その他（啓発用品の作成・購入等）			391	
(2) 事業実績	<p>配偶者からの暴力被害を潜在化させないよう、また、相談を適切な支援に結び付けるなどDV被害者支援の充実を図るため、配偶者暴力相談支援センターの機能を整備しました。</p> <p>また、男女共同参画推進会議、同幹事会、男女共同参画推進区民懇談会で検討を重ね、「杉並区男女共同参画行動計画」の改定を行いました。</p> <p>その他、性的マイノリティに関する区政モニターアンケートを実施するなど、今日的な課題にも取り組みました。</p>					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>審議会等における女性委員の登用率（平成4年25.1% 平成27年34.6%）は、向上していますが、事業の検討過程や計画策定等の意思決定過程において、さらに女性の参画を進める取り組みが必要です。</p> <p>DV相談件数は増加傾向にありましたが、ここ数年は区全体で約700件程度で推移しています。（平成25年度:721件 平成26年度:747件 平成27年度:704件）</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>男女共同参画推進区民懇談会の委員からは、女性の社会進出、社会での活動を積極的に進める区政を要望する声があります。関係団体からは、男女共同参画推進条例の制定や審議会設置についての要望のほか、男女平等推進センターの活性化や利便性の良い場所への移転を希望する声があります。</p>				
	今後の予測	<p>女性の職業生活における活躍の推進に関する法律が施行され、事業主行動計画の策定が進み、誰もがやりがいや充実感を感じ働きながら、家庭、地域、自己啓発等にかかる個人の時間を持てる健康で豊かな生活を送ることができる環境整備がさらに進みます。</p> <p>男性と女性がその個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現に向けた積極的な取り組みが求められます。</p>				
評価と課題	<p>男女共同参画推進行動計画（平成25～29年度）についての進捗状況調査を実施するに際し、各事業ごとの評価基準を見直しました。前年度と比較し、その進捗状況は改善していますが、さらなる男女共同参画の推進に向け、区民及び区内事業所の意識と実態を的確に把握する必要があります。</p> <p>配偶者暴力相談支援センターに関しては、DV被害者支援の充実を図るため、機能整備後の相談対応の向上に努め、関係機関との連携をよりいっそう継続的に進めていきます。</p>					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	<p>行動計画には、保健福祉、産業振興、まちづくり、教育等、幅広い分野の取り組みが盛り込まれています。このため、庁内推進組織である「男女共同参画推進会議」のもと、必要な調整を図り、男女共同参画に関する総合的な取り組みを推進していきます。</p> <p>また、成果指標等の数値目標を踏まえ、事務事業の進捗状況調査を毎年的確に実施し、区民懇談会で得られた意見を反映させながら、取組の改善につなげていきます。</p> <p>さらに、「男女共同参画に関する意識と生活実態調査」については、調査対象を区民に加え事業所にも広げ、区内における男女共同参画の実態とその進捗状況を的確に把握したうえで、平成29年度に行動計画の改定に取り組みます。</p>					



# 平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00067)

事務事業名称 男女平等推進センターの運営			款 03	項 01	目 01	事業 014	整理番号 067				
現担当課名 区民生活部管理課		係名 男女共同・犯罪被害者支援係		連絡先電話番号 3756		昨年度整理番号 071					
上位施策No・施策名 31 交流と平和、男女共同参画の推進						予算事業区分 既定事業					
事業開始	平成 9年度	実行計画事業	目標 05	施策 31	計画事業 04						
平成27年度担当課名	区民生活部管理課					事業評価区分	一般				
対象	区内在住・在勤・在学者、区内女性団体・グループ、男女平等推進センターを利用する個人・団体		根拠法令等	(1)	杉並区立男女平等推進センター条例						
				(2)	杉並区立男女平等推進センター登録団体使用取扱要綱						
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標		講座の開催回数						
	男女共同参画社会づくりに関する情報提供や講座の開催等により、意識啓発を図る。女性団体等が講座等の企画運営に携わることにより、積極的な地域活動や団体育成を促進する。相談者が抱える様々な悩みことに関し、適切な指導・助言を行い自分らしい生活を送るための手助けをする。		指標名(1)		女性相談の日数						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		指標名(2)								
	男女共同参画の推進を目的とした啓発講座等の開催 男女共同参画に関する情報の収集・発信、区内の女性団体等の育成・交流の支援 女性相談員による電話と面接による相談の実施 女性弁護士による法律相談の実施 男女平等推進センターの維持管理		成果指標		区民向け啓発講座受講者の延べ人数						
			指標名(1)		配偶者等からの暴力についての相談件数						
			指標名(2)								
			指標説明								
区分	単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度			
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)			
指標	活動指標(1)	1	回	12	15	17	15	12	15	80.0	
	活動指標(2)	2	日	303	305	305	307	305	305	99.3	
	成果指標(1)	3	人	459	500	470	500	357	500	71.4	
	成果指標(2)	4	件	147	200	132	200	102	500	51.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	18,446	20,963	19,011	20,890	19,576	15,764	平成27年度予算執行率(%) 93.7	
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成27年4月から、相談受付時間を午前9時から午後5時へと拡大しました。	
	(内)委託費	7	千円	15,543	17,425	15,928	17,358	17,002	12,928		
	職員数	常勤職員数	8	人	0.50	0.40	0.60	0.40	0.51		1.40
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.07	0.00	0.08		0.00
		非常勤職員数	10	人	1.00	1.00	0.73	0.61	0.61		1.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	4,315	3,524	5,286	3,524	4,461		12,246
		再任用職員分	12	千円	0	0	284	0	331		0
		非常勤職員分	13	千円	2,780	2,830	2,066	1,726	1,790		2,935
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	25,541	27,317	26,647	26,140	26,158	30,945		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	2,128,417	1,821,133	1,567,471	1,742,667	2,179,833	2,063,000		
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21	千円	25,541	27,317	26,647	26,140	26,158	30,945		
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	067	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		相談業務委託		305	日	10,000
		維持管理		305	日	4,583
		施設保守管理委託		305	日	1,447
		講座の開催		5	講座	1,313
		その他（光熱水費、法律相談、情報誌の発行、図書の購入ほか）				2,233
	(2) 事業実績	<p>相談事業は、一般相談と法律相談を合わせて1,199件と前年996件に比べて増となり、幅広い年代の方々の身近な相談場所となっています。</p> <p>男女平等推進センター講座は、5事業に対して6企画の応募があり、若い世代を対象とした出産や育児などで離職した方向けの働き方セミナーや父親向けの育児をテーマにした講座などを実施し、延べ357名が参加しました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>DVに関する社会的な関心の高まりなどを受けて顕在化していたDV被害者からの相談は、ここ数年は区全体で延べ700件程度で推移しています（平成25年度：721件、平成26年度：747件、平成27年度：704件）。相談事業は平成19年度から事業委託しています。平成27年度は、公募型プロポーザルにより決定した団体が相談事業を受託しています。</p> <p>区民を対象とした男女平等推進センター講座は、平成22年度から講座の企画を公募し実施しています。毎年、新しいNPO法人や団体から幅広いテーマでの応募があります。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>男女平等推進センターの場所について、わかりづらいので利便性の良い場所へ移転して欲しいとの意見があります。また、図書コーナーの図書について、より多くの区民が利用できるように区立図書館と連携して欲しいという要望があります。</p>				
	今後の予測	<p>DV被害者からの相談については、平成28年度に設置する配偶者暴力相談支援センターでの相談内容等を踏まえ、幅広い領域からの専門的な相談に対応できるよう、区の相談窓口や関係機関との連携や相談員のさらなる質の向上が求められます。</p>				
	評価と課題	<p>男女平等推進センター講座企画については、募集を上回る応募があったものの前年より応募団体は減っています。毎年、新規団体からの応募がありますが、バランス良いテーマ設定や講座の固定化を防ぐためには、これまでのような団体の枠にとらわれない講座企画提案者の検討が必要です。</p> <p>相談事業については、新たに機能整備を行った配偶者暴力相談支援センターのDV相談と合わせて区民の身近な相談窓口としてご利用いただけるようさらに周知に努めます。また専門的な相談にも的確に対応できるように研修内容を充実することにより相談員の質の向上を図ります。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	今後の進め方	<p>男女平等推進センターの運営については、様々な機会を活用して積極的にPRを行い活性化に努めます。</p> <p>男女平等推進センター講座については、行動計画に基づきバランス良くテーマ設定をし、多くの区民へ啓発を行っていきます。また、実施団体や講座の固定化を防ぐため、講座の実施主体を地域団体等に限定せず、企業参加についても検討してまいります。</p> <p>相談事業のDV被害者支援については、引き続き、配偶者等暴力相談支援センターと連携し対応してまいります。</p>				

# 平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00069)

事務事業名称		国際・国内交流の推進					款	03	項	01	目	02	事業	002	整理番号	070								
現担当課名		文化・交流課		係名		交流推進担当係		連絡先電話番号		3785		昨年度整理番号		073										
上位施策No・施策名											31 交流と平和、男女共同参画の推進		予算事業区分		既定事業									
事務事業の概要	事業開始		平成元年度		実行計画事業		目標		05		施策		31		計画事業		01		02		主要事業(区政経営報告書掲載事業)			
	平成27年度担当課名		文化・交流課																		事業評価区分		一般	
	対象		区内在住、在勤、在学		根拠法令等		(1)																国内友好都市(名寄市・東吾妻町)との交流協定	
							(2)																国外友好都市(ウイロビー市・瑞草区)との交流協定	
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		国内外の交流自治体と教育・文化・スポーツ等の多様な分野を通じて交流の輪を広げる。市民レベルの交流を行い、友好親善を深める。多文化との共生の実現に向け、相互理解を深める。		活動指標		指標名(1)																国際交流事業参加者数	
						指標説明																国内交流事業参加者数		
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		交流自治体「北海道名寄市、群馬県東吾妻町、ウイロビー市(オーストラリア)、ソウル市瑞草区(大韓民国)等」の代表団の受入、区代表団の派遣		成果指標		指標名(1)																多文化共生(文化等の違いを認め、国籍等の異なる人々が共に生きる)イベントの満足度		
		交流自治体が区民を対象に行う生産物即売等各種事業の支援 他課・他団体が行う交流事業への支援		指標説明		指標名(2)																参加してよかったとアンケート回答した参加者数÷アンケート回答者数		
						指標説明																国際・国内友好都市との交流事業参加者数		
区分		単位		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成27年度												
				実績		計画		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)										
指標	活動指標(1)		1 人		1,212		3,300		883		1,500		868		1,500		57.9							
	活動指標(2)		2 人		3,693		3,000		3,874		4,200		3,835		4,300		91.3							
	成果指標(1)		3 %		0.0		0.0		0.0		0.0		76.4		80.0		0.0							
	成果指標(2)		4 人		2,512		2,600		3,564		3,600		3,496		3,100		97.1							
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		8,038		8,764		6,655		25,740		20,028		17,810		平成27年度予算執行率(%)		77.8					
	(内)投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0		特記事項							
	(内)委託費		7 千円		220		540		143		6,514		2,101		2,094		平成26年度事業費からの増理由							
	職員数	常勤職員数		8 人		3.34		3.30		3.26		2.30		2.60		3.50		国外交流都市への代表団派遣、地方創生事業の新設による増						
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		1.00		1.15		0.00		執行残の理由						
		非常勤職員数		10 人		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		旅費等の実績、繰越事業費による残						
	人件費	常勤職員分		11 千円		28,824		29,073		28,721		20,263		22,742		30,615		平成28年度への繰り越し事業費						
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		4,050		4,760		0		地方創生事業費3,000千円						
		非常勤職員分		13 千円		2,780		2,830		2,830		2,830		2,935		2,935		成果指標の変更						
	総事業費(5+11+12+13)		14 千円		39,642		40,667		38,206		52,883		50,465		51,360		国際交流事業の成果をより明確に表わす指標とするため、「友好都市訪問者数・来訪者数」から「多文化共生イベント参加者の満足度」に変更した。							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15 円		32,708		12,323		43,268		35,255		58,139		34,240		成果指標「多文化共生イベントの満足度」は、27年度評価時に新たに設定したものであるため、27年度の目標は0%となっている。							
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0								
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0								
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		0		0								
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		1,000		0										
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		0		0		0		0		1,000		0										
差引:一般財源(14-20)		21 千円		39,642		40,667		38,206		52,883		49,465		51,360										
受益者負担比率(16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0										

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	070
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		友好都市等親善訪問団受入れ	13	回	786
		国際・国内交流自治体訪問	18	回	4,149
		その他(友好都市等交流事業ほか)			15,093
(2) 事業実績	<p>区役所を会場とした交流自治体物産展を年間25回開催、桃井原っぱ公園で開催した「すぎなみフェスタ」には8自治体が参加し、各自治体の特産品販売や観光PRを行いました。 また、ウイロビー市で開催した友好都市協定締結25周年記念式典への代表団派遣や、おどり団60人による東京高円寺阿波おどり台湾公演を行いました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>平成元年に東吾妻町(旧吾妻町)、名寄市(旧風連町)との交流がスタートし、その後は、災害時相互援助協定等の締結を契機に小千谷市、北塩原村、南相馬市、青梅市と交流を行っています。更に23年度～24年度で武蔵野市、忍野村、南伊豆町との交流がスタートしました。従来の儀礼的な交流から物産展やバスツアーのなど区民交流や経済的な交流を軸とした民々の交流に力を入れています。また、海外の友好都市であるオーストラリア連邦ウイロビー市と青少年交流、大韓民国ソウル特別市瑞草区と職員交流を実施したほか、台湾台北市との中学生親善野球大会が行われています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>交流自治体物産展では、農産物が産地直送のため新鮮で良質な物が多いことから完売となることが多く、農産物を主体とした物産展が多くの区民に期待されています。 区が交流協会と共催で実施している海外文化を紹介するイベントには、幅広い年齢層の区民参加があり、また、次回の開催を期待する声が多く寄せられます。 交流自治体の豊かな自然を体験できる交流事業を実施して欲しいとの要望があります。</p>			
	今後の予測	<p>各交流自治体が地方版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、都市と地方が共存共栄を目指すための自治体連携に取り組む中で、これまで以上に交流事業の多様化が進むことが予測されます。東京オリンピック・パラリンピックが近づく中で、外国からの観光客や在住外国人が増加し、国際化の進展が予測されます。また、国際交流都市からの来訪者の増加も予測されますので、それに対応した施策や受入体制の充実を図っていく必要があります。</p>			
評価と課題	<p>新たな取組として、久我山ホテル祭りに合わせて、交流自治体によるホテルをテーマとしたパネルディスカッションや物産展などを内容とした「ホテルサミット」を産業振興センターと連携して開催しました。小千谷市から雪を運び込んだスノーパークをはじめ、各会場に多くの来場者があり大盛況でした。 東京高円寺阿波おどり台湾公演を行いました。踊り手・お囃子60人編成による阿波おどりを、多くの台北市民が楽しみ、文化・芸術における交流をより一層深める公演となりました。 平成28年度に瑞草区との友好都市協定締結25周年を迎えるため、周年行事や今後の交流などについて協議を進めていきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
今後の進め方	<p>国内外の交流自治体と教育・文化・スポーツなどの多様な分野を通じて交流の輪を拡げていきます。また、都市と地方の共存共栄を目指す地方創生事業の中で、杉並区総合戦略の柱となる自治体間連携を意識しつつ交流事業に取り組んでいきます。</p>				

# 平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00070)

事務事業名称		杉並区交流協会助成			款	03	項	01	目	02	事業	003	整理番号	071	
現担当課名		文化・交流課		係名	交流推進担当係			連絡先電話番号	3785		昨年度整理番号	074			
上位施策No・施策名										31 交流と平和、男女共同参画の推進		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始														
	平成27年度担当課名	文化・交流課								事業評価区分	一般				
	対象	区民、交流団体			根拠法令等	(1)		杉並区交流協会補助金交付要綱							
						(2)									
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	国際交流の推進により、多文化共生の地域社会を構築する。 国内交流において、市民レベルの草の根交流が活発に行われている。 交流協会が交流事業のコーディネーターとしての十分な機能、役割を担う。			活動指標	指標名(1)		ボランティア登録数							
					指標説明		事業回数								
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	杉並区交流協会に対し、交流事業が円滑に行えるように補助金を交付する。														
				成果指標	指標名(1)		協会会員数								
					指標説明		事業参加者数								
					指標名(2)										
					指標説明										
総事業費・コスト把握	区分	単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度	91.4					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
	指標	活動指標(1)	1	人	221	230	343	350	464		500	132.6			
		活動指標(2)	2	回	233	240	533	540	612		700	113.3			
		成果指標(1)	3	人	448	600	451	600	468		600	78.0			
		成果指標(2)	4	人	1,638	1,700	3,135	3,300	5,461		6,000	165.5			
		事業費	5	千円	26,053	30,348	25,219	30,118	27,515		31,791	平成27年度 予算執行率(%)			
		(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0		0	特記事項			
		(内)委託費	7	千円	0	0	0	0	0		0				
	職員数	常勤職員数	8	人	1.09	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00			
		再任用職員数	9	人	1.00	2.00	2.06	3.00	2.08		1.00				
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		1.00				
	人件費	常勤職員分	11	千円	9,407	0	0	0	0		0				
		再任用職員分	12	千円	3,860	8,100	8,343	12,150	8,609		4,139				
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0		2,935				
		総事業費(5+11+12+13)	14	千円	39,320	38,448	33,562	42,268	36,124		38,865				
		単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	177,919	167,165	97,848	120,766	77,853		77,730				
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0		0				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0		0				
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0		0				
		その他の補助金等	19	千円	0	0	0	0	0		0				
		特定財源計(16+17+18+19)	20	千円	0	0	0	0	0		0				
差引:一般財源(14-20)		21	千円	39,320	38,448	33,562	42,268	36,124	38,865						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						



# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 071

平成27年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	交流協会助成		
(2) 事業実績	<p>地方創生総合戦略の一環として、平成28年度から実施される「交流自治体体験交流ツアー」の先行モデル事業として、若者を中心としたモニターツアーを小千谷市で実施しました。 また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックや外国人観光客の増加に向けて、通訳ボランティアを対象として、語学ボランティアスキルアップ講座を行いました。</p>			

事業開始当初から現在までの変化	<p>平成3年に国際交流協会として設立、5年に財団化、12年に財団を廃止、杉並区文化・交流協会に統合、その後杉並公会堂や座・高円寺などの文化施設が整備される中で文化部門を廃止しました。18年から杉並区交流協会として再出発し、今日に至っています。25年には、交流協会の理念を「人と人、地域と地域をつなぐ杉並区交流協会」とし、事業を 在住外国人の支援、国内外の自治体交流の推進、多文化共生社会の相互理解の向上の3つの柱に沿って体系づけました。</p>
事業環境の変化 事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>国際化の進展に対応し、交流協会で行っている日本語教室やサポートデスク相談などの事業に対する期待は高まっています。 交流自治体との区民レベルでの交流に向けた訪問ツアーには幅広い区民の参加が広がりつつあり、今後とも充実が求められてきています。 諸外国の実情を知る海外文化セミナーや、外国語に親しむような教室などの催しが求められてきています。</p>
今後の予測	<p>東京オリンピック・パラリンピックの開催、観光客の増加等、外国人への対応が更に重要となってきます。このような社会状況の中で、語学ボランティアの育成・スキルアップや一般の方々に対して外国人とのコミュニケーションのとり方など、おもてなしの地域文化の創出に向けて交流協会がさまざまな事業を展開する必要があります。 また、国が推進している「まち・ひと・しごと創生」に基づき、杉並区と交流自治体とが連携し、相互の地域特性を生かした事業を展開していきます。</p>
評価と課題	<p>交流協会の「人と人、地域と地域をつなぐ杉並区交流協会」の理念と3つの柱を基本に事業を推進し、事業回数、参加者数とも年々拡大しています。 26年度から実施している語学ボランティアスキルアップ研修の充実や育成など、東京オリンピック・パラリンピックを控え、外国人との多文化共生社会に対応していける新たな事業展開が必要です。 また、まち・ひと・しごと創生総合戦略の実現に向けた事業を展開していきます。 なお、このような課題に対応していくためには、協会サポート委員や事業協力者が不可欠となっており、そのためにも情報の発信、組織的な対応が求められています。</p>

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	<p>事業の見直し、新たなニーズに対応した事業を実施し、魅力ある交流協会にしていくことが必要となっています。また、事業実施や協会運営に多くの方に参画していただくことや、交流自治体と連携した事業を推進していきます。</p>	

# 平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00087)

事務事業名称		住居表示の管理				款	03	項	04	目	02	事業	003	整理番号	091						
現担当課名		区民課		係名		管理係		連絡先電話番号		1103		昨年度整理番号		092							
上位施策No・施策名										31 交流と平和、男女共同参画の推進		予算事業区分		既定事業							
事業開始		昭和38年度		実行計画事業		目標		05		施策		31		計画事業		02					
平成27年度担当課名		区民課										事業評価区分		一般							
対象		住居表示：新築等の建物の所有者、住居表示実施後の住所確認が必要な者 案内板：通行人等の地図利用者				根拠法令等		(1)		住居表示に関する法律、同施行令		(2)		住居表示に関する条例、同施行規則							
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標		指標名(1)		住居表示の付定件数		指標説明										
	住居表示：街区に接する建物の順に住居番号を付番することで、わかりやすい住居表示を維持管理し、建物の住居表示を明確にする。 案内板：利用者が現在地や目的地を把握できるようにする。				指標名(2)		案内板の設置数														
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				成果指標		指標名(1)				指標説明										
	住居表示：届出に基づき、基準により住居番号を付定する。 案内板：公共サイン(地図サイン・誘導サイン)等を要所に設置し、維持管理する。				指標名(2)				指標説明												
区分		単位		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成27年度									
				実績		計画		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)							
指標	活動指標(1)		1 件		2,196		2,000		2,138		2,000		2,248		2,100		112.4				
	活動指標(2)		2 基		197		197		196		196		189		189		96.4				
	成果指標(1)		3																		
	成果指標(2)		4																		
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		7,747		8,733		7,384		20,347		18,616		20,608		平成27年度 予算執行率(%)		91.5		
	(内)投資的経費等		6 千円		0		0		0		0		0		0				特記事項		
	(内)委託費		7 千円		4,237		4,874		4,355		16,176		14,883		17,528						
	職員数	常勤職員数		8 人		4.03		4.25		4.24		4.05		3.07		3.07					
		再任用職員数		9 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00					
		非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		1.00		1.00		1.00					
	人件費	常勤職員分		11 千円		34,779		37,443		37,354		35,681		26,853		26,853					
		再任用職員分		12 千円		0		0		0		0		0		0					
		非常勤職員分		13 千円		0		0		0		2,830		2,935		2,935					
	総事業費(5+11+12+13)		14 千円		42,526		46,176		44,738		58,858		48,404		50,396						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15 円		19,365		23,088		20,925		29,429		21,532		23,998						
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0					
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0					
		都からの補助金等		18 千円		0		0		0		0		4,177		0					
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		0		0		0		0		4,177		0							
差引：一般財源(14-20)		21 千円		42,526		46,176		44,738		58,858		44,227		50,396							
受益者負担比率(16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0							

# 平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	091	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単 位	事業費（千円）
		住居表示の付定・住居表示実施証明発行		2,527	件	247
		住居表示案内掲示板、公共サインの維持管理		54	基	3,753
		街区表示板の維持管理		174	件	1,467
		住居表示管理システムの維持管理				4,645
	その他（事務用品 ほか）				8,504	
事業環境の変化	(2) 事業実績	<p>住居表示の付定件数は2,248件、住居表示実施証明書の発行件数は279件でした。駅前には設置されている案内地図サインのうち3基は、東京都の補助金を利用し、歩行者用観光案内標識に建替えを行いました。誘導サインについて、震災救護所が案内されている板面に震災救護所マークを追加しました。また、事故につながりそうな危険な場所の建替えや新規施設の板面追加を行いました。街区表示板の整備委託は1,023街区を調査し、張り替えや補修を行いました。</p>				
	事業開始当初から現在までの変化	<p>IT（情報技術）による電子地図情報の利用が高度化し、社会生活の情報基盤となっています。住居表示は地図情報の基盤として、関連事業者等からの利用ニーズが高まっています。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>街区表示板や住居番号表示板については、より広く表示するため、区が広報等により周知を積極的に行ってほしいという要望がある一方、プライバシー等の理由から、貼付したくないという声も寄せられています。</p>				
	今後の予測	<p>宅地の細分化により同一住居番号の建物が増えています。郵便物の誤配等を心配される方も多く、住居表示に枝番号を付ける建物がさらに増加すると考えられます。また、電子地図情報の利用が高まる中、地図情報の基盤として、関連事業者から情報提供の依頼が増加すると思われます。</p>				
	評価と課題	<p>現在地確認や郵便物等の誤配防止を目的に、街区表示板や住居番号表示板の設置に対する要望が増えています。建物の新築時や所有者からの連絡があった場合等に配布を行っていますが、紛失や経年劣化による退色も多く見受けられるため、広報等を利用し表示板の設置について積極的に周知を図ります。平成27年度は、東京都の補助事業を利用し、駅前には設置されている案内地図サイン10基（都管理7基、区管理3基）について建替えを行いました。東京オリンピック・パラリンピックに伴い今後も増加していくであろう外国人旅行者や地域住民等の利便性向上を図るため、駅前を中心に周辺の地図情報や区立施設、観光施設を案内する歩行者用観光案内標識の設置を行っていきます。</p>				
	中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方	<p>2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据え、実行計画において多言語表記の歩行者用観光案内標識を設置していきます。区立施設再編整備計画等で新設・変更・廃止する施設について、適宜情報収集を行い、案内板の表示内容を見直します。街区表示板や住居番号表示板の設置への協力は、区広報やホームページへの掲載等で周知を図ります。また、街区表示板の整備委託において、張り替えや補修のほか新規貼付も実施し、普及に努めます。</p>					